

一般社団法人まなびのみなと事業報告(第4期 2022年5月-2023年3月)

No	事業分類	事業名	実績報告	責任者	協力団体	参考URL(blogなど)
1	学びの中継点	ミカタカフェ	子どもの居場所・地域の交流拠点となるよう毎週末にイベントを実施。期間内にコミュニティスペース・カフェスペースでそれぞれ約1,800人/2,300人の利用があった。 3月にはホームページを開設し、オンライン販売や寄付募集を開始した。	勝瀬	・公益財団法人日本財団 ・大崎上島町	<a href="http://mikatacafe.manabinominato.or.jp">http://mikatacafe.manabinominato.or.jp</a>
2	学びの中継点	大学生サテライト・インターン誘致	青山学院大学・島根大学・龍谷大学・早稲田大学よりインターンシップやフィールドワークの受け入れを実施。	勝瀬	-	<a href="https://manabinominato.or.jp/島で暮らし島で働く%E3%80%82学生インターンの募集を/">https://manabinominato.or.jp/島で暮らし島で働く%E3%80%82学生インターンの募集を/</a>
3	学びの中継点	schシンポジウム西日本	9月9日に、旅するSCH in 浜田 を実施した。参加者16名、スタッフ3名の計19名で、地域と学校の協働についての対話を行った。 10月29日に、第5回SCHシンポジウム西日本を開催し、参加者26名、ゲスト8名、スタッフ11名の計45名が参加し、地域と学校の協働についての対話を行った。プログラム内容は、基調講演、分科会(4テーマ)、高校生のプロジェクト発表である。	笠井	・大崎上島町 ・大崎海星高校 ・全国高校生マイプロジェクト実行委員会	
4	学びの帆を開く	島スクール	「一人ひとりが生きていく力を身に付け、個性を伸ばした地域の担い手を育てるための新しい教育プログラムを首都圏の企業や大学との協働により構築すること」を目的に実施。スモールビジネスコースとやりたいことにチャレンジコースの2コースを解説し、30名が参加。地域活性化のプロジェクトや飲食店のオープンなどの活動が生まれた。小学生から高齢者代まで幅広い参加者が集まり多世代での学びの機会を創出した。講座は、7月から2月まで行い全9回実施。	円光	・大崎上島町 ・株式会社VE	<a href="#">令和4年度島スクール_最終実施報告まとめ-完成版.pptx</a>
5	学びの帆を開く	文部科学省マスターハイスクール事業	専門高校と産業界のアップデート事業である文科省の「マスター・ハイスクール事業」の伴走事業である「マスター・ハイスクール事業」にかかる PDCA サイクル構築のための調査研究(伴走支援)」において、「地域連携」の専門家(アドバイザー)として、各学校等への支援やアドバイス及び研修会等を実施した。	取釜	株式会社ソフィア	<a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/shinkou/shinko/mext_00003.html">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/shinkou/shinko/mext_00003.html</a>
6	学びの帆を開く	講演・研修依頼など(文科省CSマスター含む)	6月7日 北海道名寄高校 対面講演会 6月21日 島根県教育委員会 地域との協働体制構築研修 7月13日 東広島市教頭研修会 7月29日 府中市CSシンポジウム2022(オンライン参加) 9月6日 広島県教育委員会、生涯学習センター研修(27日動画参加) 10月31日 広島県教育センター講師(教育総合講座) 10月1日 山口県教育庁 コーディネーター研修 徳島県教育委員会へ、フッシュ型派遣を実施。打ち合わせ及び助言・対面研修を併せて6回行った。	取釜	・文部科学省総合教育政策課 地域学習推進課 地域学校協働活動推進室 ・都道府県教育委員会 ・市町村教育委員会及び首長部局 ・県立高等学校	
7	学びの帆を開く	広島県生涯学習審議会委員(社会教育委員)	2022年6月10日 生涯学習審議会 2022年12月1日 生涯学習審議会 生涯学習のアップデートに向けて、現場の知見を踏まえて発言。	取釜	・広島県教育委員会	<a href="https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/08lifelong-singikai-18-singikai-top.html">https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/08lifelong-singikai-18-singikai-top.html</a>
8	学びの帆を開く	「教育の島」学校間連携プロジェクト	3校より15名の参加者を募り、生徒同士に交流を目的として、全4回WS開催した。3校合同チームにて各チームごとにプロジェクトを作成し、各グループで2回以上実施した。その結果、3校の生徒同士の継続した交流を生まれており、事後アンケートでは学校間交流事業において友人ができた、他校について知ったりする機会になったと高い評価を得ており(9.2/10)さらに本事業中に、3校での交流を目的としたイベントを地域住民の協力も得ながら生徒が自主的に企画した。また2022年度本事業に参加した生徒が中心となり、2023年度は3校の生徒および中学生、小学生も巻き込んだ企画が進行中である。	高橋	・大崎上島町企画課 ・広島県立大崎海星高等学校 ・広島県立広島観智学園 ・国立広島商船高等専門学校	<a href="https://manabinominato.or.jp/%E6%95%99%E8%82%B2%E3%81%AE%E5%B3%B6%E3%81%A7%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E3%82%92%E8%B6%85%E3%81%88%E3%81%A6%E5%AD%A6%E3%81%B6%EF%BC%81%E3%80%8C%E6%95%99%E8%82%B2%E3%81%AE%E5%B3%B6%E3%80%8D%E5%AD%A6%E6%A0%A1/">https://manabinominato.or.jp/%E6%95%99%E8%82%B2%E3%81%AE%E5%B3%B6%E3%81%A7%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E3%82%92%E8%B6%85%E3%81%88%E3%81%A6%E5%AD%A6%E3%81%B6%EF%BC%81%E3%80%8C%E6%95%99%E8%82%B2%E3%81%AE%E5%B3%B6%E3%80%8D%E5%AD%A6%E6%A0%A1/</a>
9	学びの帆を開く	高校生マイプロジェクトアワード広島	年間を通したプログラムを実施し、1/28にマイプロジェクトアワード広島県Summitを実施。県内9校より16プロジェクト・25名の高校生が参加。	勝瀬	共催: 全国高校生マイプロジェクト広島県実行委員会、全国高校生マイプロジェクト実行委員会 後援: 広島県、広島県教育委員会、公益財団法人マツダ財団、ひろしま好むじやんコンソーシアム 協力: マイクロンモリジャパン株式会社	<a href="https://manabinominato.or.jp/初の対面開催！全国高校生my-project-award2022-広島県summit/">https://manabinominato.or.jp/初の対面開催！全国高校生my-project-award2022-広島県summit/</a>
10	学びの帆を開く	清走中	大串海岸で海岸清掃を実施。115名の参加者が集まり、2時間のプログラムで98kgのゴミを収集。	勝瀬	・大崎上島町 ・株式会社Gab ・広島県立大崎海星高等学校 ・広島観智学園中学高等学校	<a href="https://manabinominato.or.jp/2050年の海、どうなる？「清走中-大崎上島編」開催/">https://manabinominato.or.jp/2050年の海、どうなる？「清走中-大崎上島編」開催/</a>
11	学びの帆を開く	教育情報化コーディネーター	週一回ずつ町内の小中学校を計4校を訪問した。各校を訪問した際に随時間い合わせを受け付け、年間約560件の問合せに対応した他、授業支援や研修実施支援をした。また教育委員会と連携し、町内の小中学校でのセキュリティを高めるため対策方針、対策基準を定めた「学校教育セキュリティポリシー」の策定を支援した。	平岡	大崎上島町教育委員会	
12	学びの帆を開く	広報部	まなびのみなのメンバーへのインタビュー記事、まなびのみなの事業紹介記事をHPに更新した。	笠井		
13	学びの帆を開く	イノベーションGO	『イノ旅かえつ2022』と称して、東京都の私立かえつ有明高校1年生31名の研修旅行の受け入れを実施。2022年10月17-20日の3泊4日の地域フィールドワーク型で、イノベーションへのチャレンジをテーマに大崎上島では「柑橘の島の未来」を題材に農家さんを中心にヒアリングや体験活動を実施。また、大崎海星高校の生徒との交流を実施することで高校生の他地域交流も実現。最終日には、農家さん、観光協会事務局長などに向けた成果発表会を実施。	円光	ANA、一般社団法人i.club	<a href="#">innotabi_kaetsu_2022_report_v221117_.pdf</a>
14	学びの帆を開く	高知県構原町CN育成事業	2022年6月1日 高知県構原町の現地を訪問し、令和4年度から設置された高校魅力化コーディネーターの受け入れ体制について助言を行った。	取釜	・高知県教育委員会 高等学校振興課 ・高知県構原町 教育委員会	

15	その他	まなびのみなと夢基金	2/11に開催した「まなびのみなと夢基金ピッチコンテスト」をきっかけに、3チームの学生プロジェクトへ資金援助を行った。3ヶ月後の5/13には「まなびのみなと夢基金高校生活動報告会」という形で、まなびのみなとのメンバーおよび、島内の学生、地域の大人が集い学生のプロジェクトに触れる機会・まなびの夢基金の制度を知ってもらう機会を設定。	神田		大崎上島の学生たちの挑戦を形に！まなびのみなと夢基金活動報告会を開催しました <a href="https://manabinominato.or.jp/%e5%a4%a7%e5%b4%8e%e4%b8%8a%e5%b3%b6%e3%81%ae%e5%ad%a6%e7%94%9f%e3%81%">https://manabinominato.or.jp/%e5%a4%a7%e5%b4%8e%e4%b8%8a%e5%b3%b6%e3%81%ae%e5%ad%a6%e7%94%9f%e3%81%</a>
16	その他	地域との協働による高校改革事業の評価と成果波及事業	令和元年度からはじまった「地域との協働による高校改革推進事業」の事業評価・検証及び成果波及を行なった。各学校の成果報告書による個別調査やインタビュー調査、高校魅力化評価システムと高校魅力化ルーブリックを活用した定量的な評価と検証を行なった。文部科学省のアドバイザー及び、専門家からなる運営指導委員会を設置し、指導・助言を受けながら、現地訪問及びオンラインで関係者35名へインタビューを実施。KJ法を参考にした分析手法によって、多様な視点から分析を行なった。また、成果普及のために、全国サミット及び成果検証報告会を開催した。調査研究報告書は文科省HPにて6月を目処に公開される予定である。	取益	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム</li> <li>文部科学省初等中等教育局</li> </ul>	令和4年度「地域との協働による高等学校教育改革推進事業 成果検証報告会」発表資料 <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kaikaku/1420961_00020.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kaikaku/1420961_00020.htm</a>